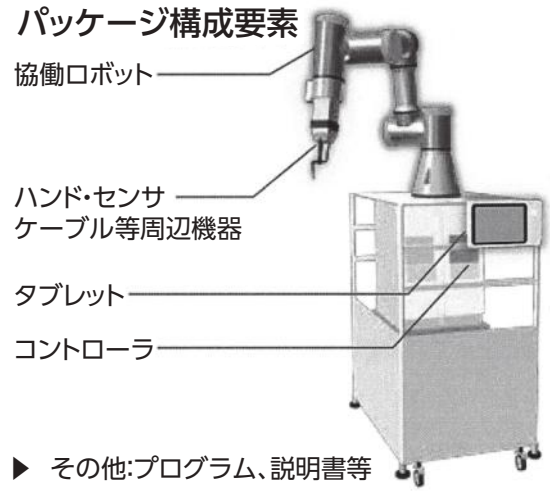
最短1日からレンタル可能

用途に合わせパッケージ化

高島ロボットマーケティング

高島ロボットマーケティング（以下TRM、東京都千代田区、TEL03―5217―722 4）は、安全柵なしで設置できる協働ロボットのレンタルサービスに注力している。その特徴は「『短期間レンタル』と『プログラム準備済みパッケージの提供』」である。ロボットを稼働させるにはシステムの立ち上げ作業に手間がかかるが、パッケージとして事前準備されているためこの手間を大幅に軽減でき、かつ短期レンタルにより繁忙期など必要な期間だけ利用することができる。

TRMは、建築資材や各種産業資材を扱う商社である高島の子会社として18年に設立。今後も成長が見込まれる産業ロボットの中でも、「協働ロボット」は特に市場の伸びが大きく、新規参入の余地もまだまだある。そこで立ち上げたのがTRMで、販売もできるが、現状の主業務は協働ロボットのレンタルサービスである。その訴求対象のメーンになるのは中小企業である。協働ロボットは操作の簡単さや制約が少ないため、これまで産業用ロボットをあまり使ってこなかった中小企業にも普及が期待される。



架台やハンドなどもパッケージ化して提供

買う前に借りて確認、コスト削減

ただ、導入する場合、具体的なロボットシステムの設計や構築は専門のSIer（システムインテグレータ）に依頼すればできるが、導入側も発注する際にどのようなシステムを作ってほしいか整理し、要求仕様書をまとめる必要がある。しかしあまりない中小企業では、適切な要求仕様書は作ることが難しい。

また、要求をすべて詰め込むとシステムが大掛かりになって高額になるし、プログラムも複雑になって自社内での変更が難しくなる。これでは「手軽に自動化でき、プログラムの変更が簡単。その工程で不要になった場合も、移設して別工程で使える」という協働ロボットのメリットを生かすことはできない。

この課題を解決するのがTRMのレンタルサービスだ。まずは協働ロボットを短期間借りてみて、さまざまな用途を検証すればどのような作業に最適かなどが分かるようになる。要求すべき仕様も具体的になるので過剰スペックによるムダなコストも削減できる。

TRM以外にもロボットレンタルを手掛ける企業はあるが、半年以上など比較的長期のレンタルや、レンタル後の販売を前提とすることが多い。これにより稼働率を維持する必要がある。これに対し、同社はWeb中心の拡販スタイルで、短期案件を多くこなすことで稼働率を維持し導入率を上げている。

また、ユーザーにとってはレンタル期間が短い分、安価で利用でき、必要に応じて最短1日から自由度の高い期間設定ができる。利用時に設定したプログラムは、要望に応じて保管管理するので、リピート時もすぐに利用を再開できる。なお、同社取り扱い協働ロボットブランドは、ユニバーサルロボットと十テックマンロボット。レンタルは1日単位で、現在、3種類のパッケージ品を提供中で、近々にはさらに2種類を追加する予定である。